

校長通信

おぼねをしよって立つ学校～自分たちで創り上げるシン尾花沢中～

輝け！シン尾花沢中

第 1 号

令和 7 年

4 月 7 日

気高く晴れた 月の峰 雲間にそそる 鳥海の

タイトルデザインは
伊藤瑞稀さんに作成
いただきました

はじめに

このたび、尾花沢中学校の校長を拝命しました工藤雅史（くどうまさふみ）と申します。
伝統ある尾花沢中学校を高橋校長先生から引き継ぎ、身の引き締まる思いでいっぱいです。
この校長通信「輝け！シン尾花沢中」は、尾花沢中生の頑張りや校長としての思いなどを、生徒のみなさん、保護者のみなさんに知っていただきたく、不定期で発行するものです。
ご都合のよろしいときにご覧いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

人生は自分の力でしか切り拓けない



私の趣味は「ランニング」です。

休日に、美しい四季折々の自然を堪能しながら、尾花沢市内をのんびりと走っています。また、尾花沢市は、各地区に地区の特色が記載された黄色い看板があり、記録用の写真を撮ることも、私の楽しみとなっています。

去年は、トータルで 1,200km を走りました。「えっ？1,200km も？」と思われるかもしれませんが、ちなみに、地図上での 1,200km は尾花沢市から鹿児島市までの直線距離となります。

こつこつ長期間積み重ねると「こんなちっぽけな自分でも、大それたことができるものなのだなあ」と改めて実感したところです。

また、最初に 1km を走らなければ、次の 2km はありません。もちろん、次の 10km、100km、1,000km もないわけです。更に言うと最初に 1歩を踏み出さなければ、1,200km は走ることはできないわけです。

私が、ランニングから学んだことを整理しますと

- ① ちょっとずつ積み重ねると大きな事を成し遂げることができる
- ② 思い切って最初の一步を踏み出さなければ次はないになります。

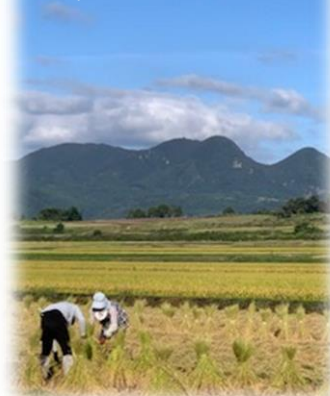
趣味からもこんなことが学べます。学びはいろいろなところに転がっているのですね。

他人から助けられたとしても、最終的には、自分の人生は自分の力でしか切り拓けません。

生徒のみなさんには、この 1 年間、「何を積み重ねて自分の人生を切り拓いていくのか」を、保護者の方と十分に話し合ってもらえればと思います。

【文責：校長 工藤雅史】

袖原からみた二倉山



南沢の桜並木



ヤマユリを背に野黒沢の夕日

